西日本サイディング・News
2022年（令和4年）3月31日（第190号）

発行
西日本サイディング事業協同組合
事務局
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-28 NKビル（旧下村ビル）6F
TEL 06-6121-7302
FAX 06-6121-7303
URL:http://www.ksk-net.jp/

全国サイディング事業協同組合連合会設立2周年記念
Zoomセミナーを開催
コロナで激変する社会、変化を見極めよう

3月16日（水）、全国サイディング事業協同組合連合会は、設立2周年を記念し、Zoomによるオンラインセミナーを開催した。講師には（株）いろどり代表取締役社長、横石知二氏を招き、「コロナで激変する社会　SDGs日本一の取り組みとは…」というテーマでお話しいただいた。セミナーには、全国から60名を超える供給し、ほぼ毎年黒字を維持している。

横石氏は、コロナ禍からの学びとして、窮地を脱するために「いかに自分で考えて行動する習慣を身に付けるか」「変化を見極めること」が求められると語る。

変化を乗り越えられた一番の決め手はICTの活用だ。同社では、農家－農協・生産地の管理者－市場－仲卸といった流通に関わる主体間における情報受発信のシステムを開発し、時間と労力の大幅カットを実現した。視認性に富んだUIのおかげで高齢者がPC、スマートフォン、タブレットを使いこなしている。

コロナで対面コミュニケーションができない中、コミュニティの横のつながりを保ち、モチベーションの低下を阻止してくれたのもICTの力だった。こうして高齢者の方々に日々張り合いを持ってビジネスに取り組んでもらうことに成功しているのである。

横石氏は「自分が働くことで周りが幸せになれば、自分も幸せになれるのではないか。こう考える人は若者にも増えており、社会は変化していると感じる。連合会の皆様もコロナの中で今一度変化を見極めてみてほしい。自分でできることを考え、仮説・検証・実行をかけて具現化していくことが大事だ。皆様のように横の連携をとってしっかり情報共有することは絶対的に必要であり、今の時代だからこそこのような組織の役割がますます重要になる」と締めくくった。

コロナ禍で事業の持続的発展に暗雲が立ち込める昨今であるが、ICT導入でコロナの窮状を乗り越えるなどの身近な事例は、ビジネスに希望とパワーを与えてくれ、組合員各位にとっても役立つ知見を得られたことだろう。

WEBセミナーで語る横石氏

コロナ禍でも各プロジェクトで有効な活動

本セミナーは、昨年に引き続きオンライン開催となった。連合会会長の仲本純氏が、1年間の連合会活動報告を兼ねた開会挨拶を述べた。

《活動報告・挨拶要旨》

「2019年の連合会発足直後にコロナ禍になり、表立った活動ができずジレンマを抱えているが、そんな中でもいくつかの取り組みが粛々と進んでいる。外国人技能実習生のサイディング職種追加については、いつ認定されるかまだ明確にはできないが近々には実現する予定で、今まさに進行中だ。

かねてより問題になっていたシーリング剥離問題については、対処するためシーリング委員会を発足した。サイディング工事業界ではもう何十年も前から起こっていることなので、われわれ連合会の組織力でしっかりと解決に導きたい。こちらもかなり有効な活動ができている。

また、この3月中に窯業系サイディングメーカー各社の社長訪問を実施し、当連合会の意義や要望などを話し合うつもりだ。

このように着実に前に進んでいることをご理解いただければと思う」

変化を読み取り、ICTの仕組みを構築

セミナーに登壇した横石氏は、料理に彩りを添える〝葉っぱビジネス〟で、過疎化が進む徳島県上勝町の農家を活性化させた地方再生のスペシャリストだ。

人口約1，500人の上勝町は産業のない町だったが、今では山村におけるビジネスで日本一元気な町である。（株）いろどりでは約300人の農家の高齢者を動かし、レンコンや葉わさびなど季節のつまものを生産して全国に

さよなら継ぎ目。メンテナンスも、当分さよなら。
未来へ受け継ぐ新世代外装材
Fuge フュージェ
美しい佇いを、
住まいにいつまでも。
GOOD DESIGN AWARD
2014年度受賞
素晴らしい人間環境づくり
NICHIHA ニチハ株式会社
商品のお問い合わせ、ご相談は、最寄りの弊社営業所または下記お客さま相談室にお問い合わせください。
【お客様相談室】TEL(052)220-5125 FAX(052)220-5157【受付時間】月～金 AM9:00～PM5:00（土・日・祝日・年末年始・お盆休みを除く）

組合員インタビュー

職人の地位向上のための人材育成を

外国人雇用にも取り組む

株式会社岡本ＲＳ外装

今回は、西日本サイディング事業協同組合の副会長を務める、(株)岡本ＲＳ外装取締役社長・岡本茂也氏にインタビューを行った。今年創業63年を迎える岡本ＲＳ外装は、和歌山、大阪、兵庫中部・南部で屋根・外壁・板金・雨樋を一貫で請け負う。長年の地域地盤を持つ和歌山市の本社と、震災を契機に設置した伊丹市の営業所の2カ所を拠点とし、職人の技術力と営業力を強みに日々事業活動に取り組んでいる。

貴社の創業当初および発展の沿革についてお教えください。

1959(昭和34)年、父の岡本伊知次(現会長)が現在本社のある和歌山市狐島に「岡本瓦商店」を創業しました。名前の通り、当時はいわゆる〝屋根屋〟でした。今年の4月でもうかれこれ創業63年になります。創業当初から地元密着でやってきました。

岡本社長が取締役社長に就任されたのは？

2002(平成14)年です。私ははじめ、継ごうという意志は特に持っていませんでした。父はというと、時代の変化でこの商売も将来まで長く続くとは限らないのだから、別に継がずとも好きな道に進めばいい、という考えでした。

大学卒業後、ゼネコンに就職しましたが、ゼネコンでは木造住宅に関わりませんから、私としては全く違うことをしている感覚でした。

どこかで転機があったのですか？

1995年1月17日の阪神・淡路大震災が大きな転機となりました。震災に起因する急激なニーズの高まりで、全国から工事業者が被災地に一気に集まってきました。

和歌山の得意先もみんな被災地に行き、当社も同年4月に伊丹に営業所を設けました。これが伊丹営業所の始まりです。そうなると、和歌山と伊丹の両方を管理する必要が出てきて、会社が非常に忙しくなりました。伊丹営業所ができた翌年のタイミングでしたね、父から「戻って来ないか」と言われたのは。

その後、父が和歌山、私が伊丹を管理する形に落ち着きました。

「岡本ＲＳ外装」への社名変更も転機の一つでは？

震災後から外壁サイディングも始めるようになりましたが、「岡本瓦商店」では壁の仕事が入って来ないので、代替わりを機に変えることにしました。Ｒｏｏｆの「Ｒ」とＳｉｄｉｎｇの「Ｓ」を組み合わせれば語呂がいいんじゃないかという、会長の発案です。屋根・外壁含む「外装」が全部うちでできますよ、という意味を込めています。

実際に、屋根・外壁各種サイディング・板金・雨樋を当社一社でこなせるよう、人の育成に力を入れてきました。ここは大きな強みかなと思っています。

今後の方向性についてどうお考えですか？

現状は、工事数では屋根のほうが多いですが売り上げ的には外壁が一番です。リフォームに関して言うと、和歌山エリアでは地場のお客様から直接お声がいただけるのですが、伊丹では知名度がないので工務店から請け負っているのが現状です。今後、集客方法を工夫したり、非住宅案件も取りにいったりする必要があると考えています。私自身があまり詳しくないためこれまでできていなかった、ネットでの集客にやっと取り組み始めています。

4月から会社のホームページをリニューアルし、お客様から直接ネット上で取引できるよう体制を整えていくつもりです。

集客のみならず、人材確保も大変だと思いますが、何か試みておられますか？

2020(令和2)年2月、初めてベトナムから外国人技能実習生を3人採用しました。ハウゼコの神戸社長に勧められ、一緒にベトナムへ行ったんです。コロナ拡大のギリギリ直前でした。単純に人手を充足できたメリットだけでなく、若い外国人が入って来たことによるうれしい変化がありました。ベトナム人らはまじめで素直なので、教える側に立つ職人たちが非常に教え甲斐を感じてやってくれるのです。自ずと責任感が生まれ、今までしなかったような提案(新たな道具の導入、安全性や効率性の向上など)をしてくれるようになりました。最初不安だった言葉の壁もものともせず、ときには通訳機を利用して丁寧なコミュニケーションを行っています。とにかく驚くほど現場の空気や職人の意識が変わりました。

本当に彼らを採用してよかったと思います。今後も外国人雇用は続けていくつもりです。

ただ、外国人雇用自体が業界の抱える人材不足・後継者不足の根本的解決になるわけではないんですよね。これは組合の前身である関西サイディング工事協会設立当初から掲げていることですが、大事なのは職人の地位向上です。さらにそのために必要なのは材工価格と賃金の上昇。職人さんあっての会社、業界ですから、当組合の一員としても、そこを一番変えていきたいと思っています。

外壁用シーリング材「性能新時代」の幕開け。 オートンイクシード
EXCEED Technology

厳しい環境をクリアする新技術「ＬＳポリマー」

高耐久化する住宅外壁に合わせ、専用ポリマーの設計からスタート。
厳しい基準をクリアし、高耐久型樹脂「ＬＳポリマー」が誕生。
「ＬＳポリマー」を採用し、開発された
シーリング材が「オートン仮ード」
これまでの外壁用シーリング材の耐久性
レベルを飛躍的に向上させることに成功
しました。

※屋外暴露試験場(宮古島)での耐候性試験

AUTO オート化学工業株式会社 http://www.autochem.co.jp
大阪支店 大阪府吹田市南金田2-18-23 TEL.06-6821-8011 FAX.06-6821-8010
本社 東京都台東区上野5-8-5 CP10ビル5階
東京支店 TEL.03-5812-7310 FAX.03-5812-7950

TOPIX

「住宅外皮マイスター」資格の本試験が東京・大阪で実施される

試験会場の様子（ＡＰ大阪茶屋町）

1月26日、「住宅外皮マイスター」資格制度試験が東京（ワイム貸会議室　御茶ノ水）と大阪（ＡＰ大阪茶屋町）で実施され、2月28日には試験結果も公表された。東京・大阪会場合わせて計176名の受験者のうち合格を果たした144名が、日本初の住宅外皮マイスターとなった。

同資格は、去年9月から募集を開始し、12月15日のＷＥＢ講習会を経てこの本試験の合格をもって認定される。受験申込者は想定を大きく上回ったが、コロナ禍のため2割ほど辞退があった。受験者の業種は工務店、ハウスメーカー、設計事務所、検査機関、資材メーカー、商社、工事店などで、職種も営業、施工管理、工事、設計、研究開発、企画、検査と多岐にわたる。

すでに本紙でも昨年9月（187）号で告知したように、同制度は（一社）住まいの屋根換気壁通気研究会が資格制度委員会を組織して創設したもので、外皮の構造や性能の知識を有し、外皮の設計・施工に活用できる実務者を認定する。知識と技術力のレベルを明確にし、住宅の品質向上に資する有用な人材の育成と確保に貢献することが目的だ。

全国サイディング事業協同組合でも同資格制度をバックアップしている。また、当組合メンバーも全国各支部から受験に臨んだ。

NEWS

建築基準法や建築物省エネ法を大幅に見直す方針が示される

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）等の一部を改正する法律案に関しては、2021年末にかけて、国土交通省が開催した社会資本整備審議会建築分科会の建築環境部会と建築基準制度部会の合同会議で協議が重ねられていた。

今年1月20日、両部会は、今後の住宅・建築物の省エネルギー対策と建築基準制度の在り方に関する報告書（「脱炭素社会の実現に向けた、建築物の省エネ性能の一層の向上、CO_2貯蔵に寄与する建築物における木材の利用促進及び既存建築ストックの長寿命化の総合的推進に向けて」）を取りまとめた。

脱炭素が大きなテーマとして掲げられた改正方針は、「建築確認の見直し」「省エネ性能の引き上げ」「木材利用の促進」「既存ストックの長寿命化」の四つがポイントとなる。

省エネ性能に関しては、

・建築物の省エネ性能の一層の向上に向け、2025年度以降新築される住宅を含む原則すべての建築物への省エネ基準適合の義務付け

・各種誘導基準についてZEH・ZEB基準への引き上げ

・住宅性能表示制度における省エネ基準を上回る多段階の等級の設定　など。

木材利用の促進に向けては、

・小規模木造建築物は、高さ16m以下の3階建ての構造計算の合理化とそれに合わせた建築士の業務区分見直し

・中大規模木造建築物では、延床面積3，000平方メートル超を含め現しでの木造化を可能とするなどの防火規定の合理化　など。

既存建築ストックの長寿命化については、

・既存不適格建築物に対する防火避難規定・集団規定の既存部分への遡及適用の合理化　など

以上のような内容が示された。改正案は速やかな国会提出が臨まれているが、現在、国交省は2022年通常国会への提出を「検討中」としている。

今日つれづれ

神戸　睦史（ハウゼコ）

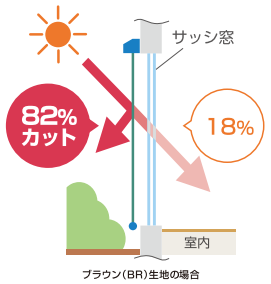
渋沢栄一の大河ドラマ、『青天を衝け』が終わって3ヶ月、渋沢ロスが少し癒えてきた。『青天を衝け』は大河ドラマ史上、私の中で間違いなくＮｏ．1だと思う。渋沢栄一は、明治維新直前に徳川慶喜の弟の昭武の留学に随行し渡仏するのだが、金が無く随行員の一部を帰らせるほど滞在費に困窮していた。当時の日本がいかに貧しい国であったかがよく分かるエピソードだ。

一方新政府側は、維新前後に長州や薩摩がイギリス側の支援で留学している。その留学費用は、グラバー（新政府側に大量の最新兵器アームストロング砲等を供給した武器等の商人）の仲介で、イギリスのユダヤ系財閥のロスチャイルド系列のマセソン商会（アヘン戦争で巨額の利益を上げた）がスポンサーになった。結局朝鮮戦争やベトナム戦争等と同じく、イギリス対フランスの代理戦争の図式だ。当時、アジアは、ほとんどが西欧諸国の植民地になっており、アジアの超大国の清までもがアヘン戦争で植民地化された事は、当時の日本に大きな衝撃を与えた。日本は倒幕に向けて内戦が起こり、十中八九その後はイギリスとフランスの分割統治による植民地になる運命だった。その状況をかいくぐった日本は、凄いと言うしかない。

最近、『創業者は渋沢栄一です。』と宣伝する上場企業が多い。渋沢は、約500社の企業の設立にかかわっており、現在の日本の有力企業の多くにゆかりがある。そういった意味では、維新三傑よりも功績があると思う。そんな彼も現在の閉塞した空気感の日本を見て、きっと天国から喝を入れているに違いない。

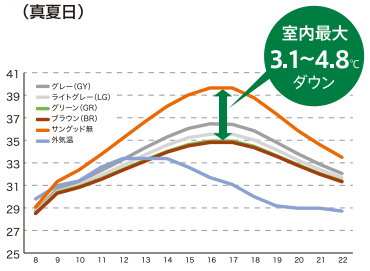
SUNGOOD サングッド
窓辺の強い日差しをカットして日陰をつくる
「外付けロールスクリーン」
省エネ効果　日射熱カット　目かくし効果
SEIKI
サングッドは、窓からの日射熱を 最大約80%カットします。

◆サングッド設置効果



ブラウン(BR)生地の場合

◆サングッド室温シミュレーション（真夏日）



アメダス2000年版 8月9日東京のデータ使用

セイキ販売株式会社 〒570-0014 大阪府守口市藤田町 2-2-3 TEL：06-6780-1700

協会だより

役員会・広報部会・情報交換会のご報告（2月）

日時 2月17日（木）15：30～17：00
場所 Ｚｏｏｍによるオンライン会議

□広報部会

サイディングニュース3月号の内容検討
・ウッドショックの余波、建築基準法・省エネ法改訂見直し案の方向性について、住宅外皮マイスター 第1回資格試験終了 など

□役員会

○2022年通常総会実施について
・6月の実施に向けて、会食の有無あるいは、会議形式の総会のみとするか否かについては、コロナの状況を見ながら判断する（3～4月にかけて決定）。
○2021年度収支状況について
○全国サイディング事業協同組合連合会にて開催の理事会議事からの報告
・特定技能のサイディング職種取得について
・サイディングメーカー社長への訪問実施を決定。日時などの調整に入る。
・シーリング委員会にてシーリング状況の分析を実施することを決定。
・定款を変更。
・日本窯業外装材協会（ＮＹＧ）が取り組む「サイディング施工士」普及への協力について。

□情報交換会

各社近況報告

今後の予定

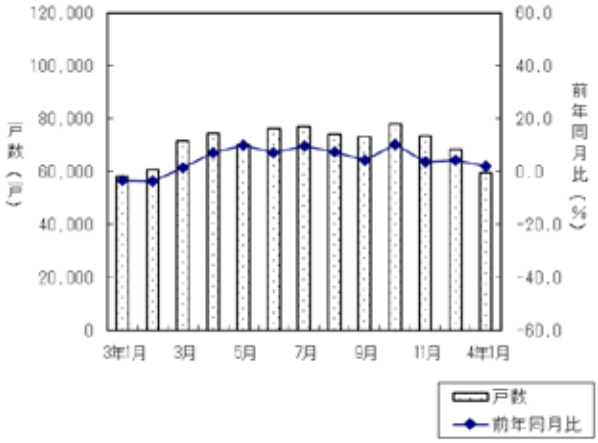
全国サイディング事業協同組合連合会設立2周年記念Ｚｏｏｍセミナーを開催日時 3月16日（水）15：20～17：00
内容はＰ1を参照

役員会・広報部会・情報交換会（4月）

日時 4月6日（水）15：30～17：00
場所 Ｚｏｏｍによるオンライン会議

建築物着工統計
（2022年１月の動き）

１月の新設住宅着工は，持家及び分譲住宅は減少したが，貸家が増加したため，全体で前年同月比2.1%の増加となった。また，季節調整済年率換算値では前月比 2.1%の減少となった。



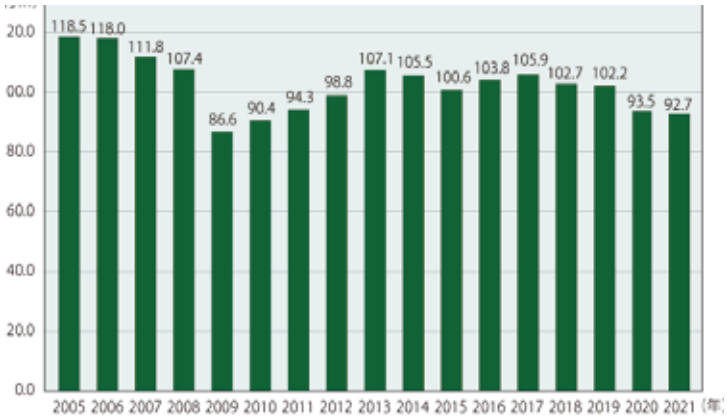
新設住宅総括表

		戸数			床面積の合計		
		戸	対前月比(%)	対前年同月比(%)	千平方メートル	対前月比(%)	対前年同月比(%)
新設住宅計		59,690	△12.7	2.1	4,968	△12.9	3.0
建主別	公共	586	△28.6	△19.9	36	△22.4	△4.7
	民間	59,104	△12.5	2.4	4,931	△12.8	3.0
利用関係別	持家	18,130	△20.2	△5.6	2,108	△20.3	△5.6
	貸家	23,083	△8.5	16.6	1,216	3.5	33.4
	給与住宅	323	△37.0	△11.5	23	△36.7	1.3
	分譲住宅	18,154	△8.9	△4.9	1,620	△12.1	△2.2
資金別	民間資金	54,777	△12.5	3.2	4,513	△12.8	4.2
	公的資金	4,913	△15.5	△8.7	454	△13.4	△7.8
	公営住宅	278	△32.7	△61.8	19	△14.0	△48.5
	住宅金融機構融資住宅	2,256	△16.9	△12.5	231	△15.3	△11.9
	都市再生機構建設住宅	133	△41.9	-	6	△43.6	-
	その他の住宅	2,246	△8.5	8.3	198	△9.6	2.6
構造別	木造	33,714	△17.5	0.9	3,232	△18.2	△1.0
	非木造	25,976	△5.7	3.7	1,736	△0.8	11.3
	鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	724	188.4	141.3	37	164.7	88.5
	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	15,974	△6.4	△1.9	910	△8.1	△3.3
	鉄骨造	9,218	△9.1	9.7	784	6.3	32.5
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造	30	△31.8	△16.7	3	△37.9	△22.7
	その他	30	△9.1	20.0	2	△34.9	△40.0

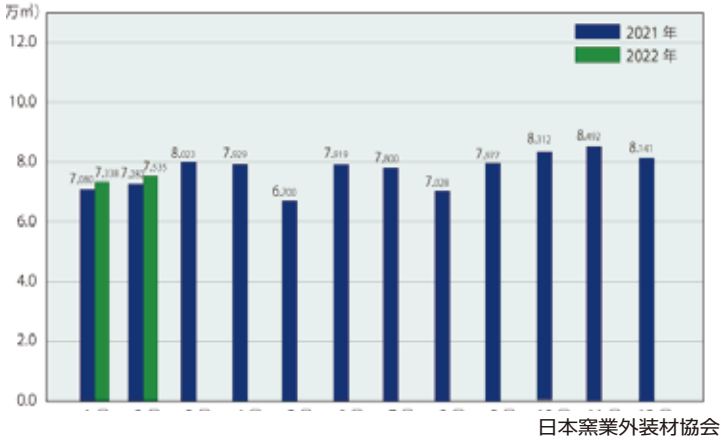
※国土交通省 建築着工統計（2022.2.28 発表）より
http://www.mlit.go.jp/report

窯業系サイディング販売量

年度別販売量



月度別販売量



日本窯業外装材協会

施工品質の最高峰をめざし感謝の気持ちで信頼に応える
サイディング工事の神保工業所

有限会社神保工業所
〒630-2342
奈良県山辺郡山添村広代 651
TEL. 0743-85-0036
FAX. 0743-85-0019
E-mail : info@kanbo.jp.net